

2017年4月25日

丸紅株式会社

中越パルプ工業株式会社

セルロースナノファイバーの用途開発、販売業務に関する覚書の締結について

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）と中越パルプ工業株式会社（以下、「中越パルプ」）は、中越パルプの製造するセルロースナノファイバー（以下、CNF）「nanoforest[®]」の用途開発、販売業務を共同で行うことに合意し、2017年4月17日付で覚書を締結しました。

CNFは木質繊維（パルプ）を処理してナノメートル（ナノは10億分の1）サイズまで細かく解きほぐしたものです。原料は植物でありながら鉄鋼に比べ5分の1の軽さであり、5倍以上の強度を持っています。用途としては、建材、家電、自動車、化粧品等が考えられ、経済産業省の見通しでは2030年にCNF関連材料として1兆円の市場規模創出が期待されています。

中越パルプのCNF「nanoforest[®]」は、九州大学の近藤哲男教授が開発した製造方法「水中対向衝突法（ACC法）」を採用し、パルプと水のみから製造しています。高吸着性、高強度、透明性、寸法安定性、低線熱膨張等に加え、天然パルプ繊維を優しく微細化する製造方法により発現する「両親媒性」の特徴を有します。

中越パルプは、川内工場（鹿児島県薩摩川内市）に年産能力100トンのCNF量産設備「第1期商業プラント」を建設し、2017年6月に稼働を開始します。

一方、丸紅は、2017年4月1日、「チップ・パルプ部CNF事業推進課」を新設しました。化学品、紙パルプ製品の販売を通じて培った顧客ネットワークをフルに活用し、CNFの用途開発、および販路拡大に注力してまいります。

今後は、両社で情報交換を開始し、早期の実績化、および将来の共同事業を視野に入れた取組みを行ってまいります。

<本件に関する問い合わせ>

丸紅株式会社 広報部報道課 TEL : 03-3282-4803

中越パルプ工業株式会社 経営管理本部管理部 TEL : 0766-26-2404

以上